

家庭教育だより

はつらつ

2022年 3月発行 山口市教育委員会
社会教育課 TEL: (083) 934 - 2865



社会教育課では、山口市の家庭教育を応援する取り組みを行っています。詳しくは家庭教育応援サイト『親も子も一歩ずつ』でご紹介しています。紙面と併せてご参考に！

家庭教育応援サイト

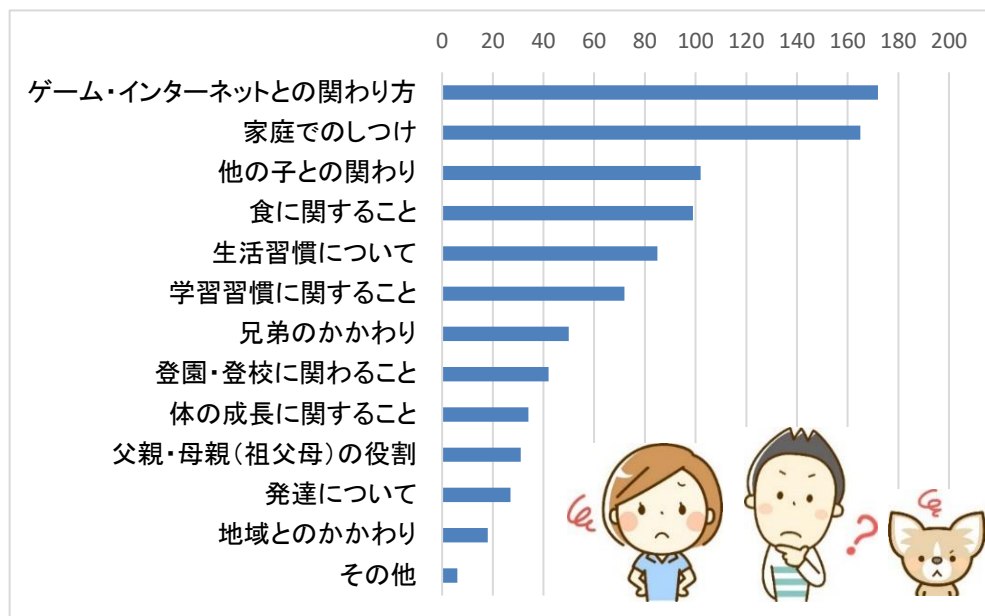
知っちゃう？
参加しちゃう？

子そだては自分そだて！
**子そだて
マナビィ**



社会教育課では、小学校の就学時健康診断の機会において、家庭教育支援チームによる『家庭教育講座』を行っています。また、山口市内小中学校内において『保護者カフェ』を開催し、保護者同士の情報交換や集いの場を提供しています。その際、保護者の皆様に伺ったアンケートの結果をご紹介します。

Q.子育てで困っている事、不安なことは何ですか？



子どもたちをネットトラブルから守るために大切なことは何でしょう？

▼お子様にとって、一番身近な大人である親がしっかりと状況を把握すること

▼お子様自身がインターネットの利用の仕方を考え、律すること

インターネットファミリールール！

社会教育課では、親子や地域・青少年を対象とした「情報機器やインターネットの使い方のファミリールール作成等」について、講演会や研修会を実施しています。

【講座内容】

- インターネットを安全に利用するにはどんなルールが必要？
- 子どもの身体にどんな影響があるの？などぜひ活用してみてください！

詳しくはこちら



インターネットファミリールール

知りたい！しつけや子育てのヒント

「子そだてマナビィ」の講座報告をご参考に！



子育て中のあなたの気持ち、話してみませんか？

しつけや学校生活の困りごとなど、どうぞお気軽にお電話ください。

家庭教育訪問支援ダイヤル

く つ う は ミ ニ ミ ニ

083-928-3232



第1回 子どもの夢の叶え方

～未来を自分で決められる子へ～

日時：令和3年10月5日（火）10：00～12：00（延期開催）
場所：吉敷地域交流センター
講師：河村 大輔 氏（ドリームサポートコーチング代表／
パフォーマンスエンハンスメントコーチング認定コーチ）
受講生：大人32人



子どもの自己肯定感や向上心を伸ばす関わり方について、次のようなテーマから学びました。



- ・子どもさんをどうみていますか
- ・心理的盲点に気づこう
- ・子どもの話を聞く時のポイント
- ・親の立ち位置
- ・脳の仕組み
- ・ゴール設定のコツ
- ・時間の流れは未来から など（詳しくはウェブサイトで）

ポイント

保護者の方ご自身が子どもさんのコーチとなって、「心の奥にある思い」を引き出してあげてください。親子で同じゴールを目指す「共に歩いていく関係」を目指しましょう！



第6回 わが子に伝えたい生と性のお話

日時：令和3年11月24日（水）10：00～12：00（延期開催）
場所：大内地域交流センター
講師：江藤 美知子 氏（助産師）
受講生：大人26人



お話から一部抜粋

「親のセルフイメージと子どもの自己肯定感の持ち方について」

親からの自分の身体に対するネガティブな発言は、子どものボディイメージに影響してしまいます。

- ・まずは親自身が性別、身体的特徴を含めた自分自身についてポジティブに捉え、子どもに発信しましょう。

ポイント

性をテーマにした絵本をさりげなく置いて、
家庭で性について話すきっかけづくりを。
タイミングは思春期を迎える前がおすすめ。

「赤ちゃんはどこからくるの？」監修 平原史樹
／絵 井元ひろい
少年写真出版社



絵本の一例です。子どもの年齢などに合ったものを選んでくださいね。

「子どもと何でも話せるような、信頼される親子関係づくりが大切です。」



※各回のアーカイブは、市ウェブサイトからご覧いただけます。
ダウンロードもご自由にいただけます。ぜひご覧ください。

子そだてマナビ
令和3年度講座報告



楽しく子育て！

第7回 絵本でコミュニケーション

日時：令和3年10月10日（日）10：00～12：00

場所：嘉川地域交流センター

講師：塚本 美穂 氏（長門市立向津具小学校校長）

受講生：大人20人



AFPYによる参加者交流や様々な体験、絵本の朗読や紹介、クイズなどを交えながら、人と人の関わりについて、また、親から子へ具体的な声のかけ方のポイントなど学びました。

ポイント

コミュニケーションにおいて大切な、「相手の気持ちを想像する力」や「物事を多角的な視点から見る力」。親子で絵本を楽しみながら育てていけたらいいですね。

AFPYとは？

山口県独自の体験学習法。「他者と関わり合う活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間関係力を築くための考え方と行動の在り方を学び合います。

塚本先生からご紹介いただいた絵本を市ウェブサイトでご紹介しています♪



バラバラなページをみんなで紡ぎ合わせて一冊の本に仕上げました。

第8回 子どもを伸ばす大人の工夫

—上手なほめ方・しかり方—

日時：令和3年11月18日（木）10：00～12：00

場所：小郡ふれあいセンター

講師：松岡 勝彦 氏（山口大学教育学部教授）

受講生：大人39人



応用行動分析学をもとに、子どもをほめる時、叱る時の注意点などを、多くの具体例から学びました。



～受講生のご感想から～

「子育ては、楽しいこともたくさんありますが、それと同時に正解がなく、難しいなと感じることもあります。最近気づいた事は、叱る時は子どものできないところばかりに目が向き、注意すると子どもは反発し、私も自分の思いが伝わらない事にイライラしてしまい、悪循環になるという事です。今日のお話から、間違った叱り方をしているということに気づくことができました。

大人でも失敗や間違いはありますし、むしろ子どもの方がよくわかっていることもあります。何があってもチャレンジ精神が続くには、「自分は大丈夫」と思えることが重要で、自己効力感の向上と言う点を大切に、改めて子どもと向き合っていけたらと思います。」※自己効力感とは…目標を達成するための能力が自分にはあると思えること。

ポイント

「それぞれの子どもの『できている点』『がんばっているところ』を見つけてほめてあげましょう。」



第9回 わが家の金銭教育

知っておきたい！

～子どもの金銭感覚の育て方講座～

日 時：令和3年12月1日（水）10：00～12：00

場 所：名田島地域交流センター

講 師：中村 久枝 氏（山口県金融広報アドバイザー、ファイナンシャルプランナー）

受講生：大人25人



その
子ども
が
興味
を持
てたら



ポイント

子どもの金銭感覚を育むために大切なことを学びました。

- ・ニーズ（必要）とウォンツ（欲しい）をその都度考える
- ・目標（目的）を定め、自分の考え方で実行していく習慣を身につける（誰かと一緒になくていい）
- ・親の考え方ではなく、子どもの考え方を尊重する
⇒子どもの話をよく聴く、認める（否定しない、信頼する）

第10回 がんばらない食育のお話

肩の力をぬいて聞く

～健やかな心と身体を育むために～

日 時：令和3年12月15日（水）10：00～12：00

場 所：湯田地域交流センター

講 師：森永 八江 氏（山口大学教育学部准教授）

受講生：大人23人

学童・思春期の食事において注意することや苦手克服の仕方、朝ごはんの大切さなど、家庭における食育のポイントを学びました。



食育はなぜ
必要なの？



豊かな人間性を育むための
教育の基礎となるからです。

成長期には…

☆たくさんのエネルギー、栄養素が必要！

☆カルシウム、鉄、タンパク質をたっぷりと！



きのこ

煮干し



レバー

などなど



〈お手軽バランス朝食の例〉

主食



タンパク質



野菜・果物



第11回 叱らない子育てから 上手に叱る子育てへ

～アンガーマネジメントで心地よい親子関係づくり～

日 時：令和4年2月2日（水）10：00～12：00

場 所：佐山地域交流センター

講 師：伊藤 英利 氏（アンガーマネジメントファシリテーター）

受講生：大人14人

怒ってもいいんです。
でも、「怒り」という感情で
子どもを変えようとしていま
せんか？自分が「伝え方」を
変えることで、子どもは変わ
りますよ！

令和4年度もお楽しみに！

講座の年間予定、お申込みはこちらから♪
（令和4年度の予定は4月に
掲載を予定しています）



子そだてマナビィ